



中地区に住みよい環境を

副会長 小川 明

『田んぼの学校』に指定されてから4年目になりますが、学校から協力要請がありその内容はメダカ、水生動物の飼育、そしてほたるの飛び交う中地区にしたいということでした。しかし、ほたるは水が豊富に流れる環境の良い河川に生育する生物と思いましたが、生活排水などで汚染されている河川の多いこの頃、中地区でほたるの飛び交うことができるのかと心配しました。幸いにして、ほたる飼育についてベテランの中公民館長から詳細に説明いただき、また先進地の視察をする等して、中小敷地内にほたるのビオトープづくりを始めた訳であります。

ほたるが飛び交うのは少なくとも3年後だろうということでしたが翌年に飛び交い、地区の方々が親子連れで観賞に訪れました。中小の子ども達も環境に関心を持ち、巴波川にほたるを戻そうということで巴波川の汚染度調査等の研究もしております。『ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会』の試みにより地域の皆さんが住みよい環境づくりについてご理解をいただきたいものです。

地域ぐるみで水質浄化運動をすることも良い方法だと思います。今年もほたるのビオトープ内に小さな光の乱舞が観賞できることと思います。

「ほたる」との出会いに思う

理事(元中小教務) 山道 玲子

3年前、地域と学校で力をあわせて『巴波川にほたるをもどそう!!』という広大な夢への第一歩が始まった。

ほたるについて全く無知だった私は、松本旭巧館長の熱心なご指導のもと、ビオトープの穴掘り、みんな顔中どろだらけになった粘土こね、草木の移植等々、夢中で汗を流した。今になると、懐かしくすばらしい思い出である。大変だったが、楽しく心躍る経験の連続だった「ほたるとの出会い」は、私にとっては、すばらしい人達との出会いでもあった。ほたるの活動を通じて、たくさんの人との出会いがあり、「人間ていいもんだなあ。」と実感できたことが私の最大の収穫だったとしみじみ思う。

地域の人達の心深く広い包容力を持った人柄に触れ、心安らぐ幸せを感じたのは一度や二度ではない。

そんなすばらしい人達との出会いをもたらしてくれた「ほたるとの出会い」に、私は心から感謝したい。

そして、これからも、もし私にも出来ることがあったら、少しでもお役に立ちたいと願う今日この頃である。本当に3年間お世話になりました。

ありがとうございました。

ほたるのビオトープが 広く・大きく・美しくなりました！

中小学校教頭 町田 繁

多くの人達の英知と労力で創られたビオトープは、校庭の西に素晴らしい姿で建っていました。でも北側の一部が低く、狭いトンネルのようでした。

そこで、ほたるの会の施設班の人達を中心に整備拡張することになりました。1月20日・27日と着実に拡張して、2月1日最後の整備作業。ほたるの会の人達、PTA、教職員総勢50人で、裾バリアの取り付け、機材の枠止め確認をしてペンキ塗りを実施しました。寒空のもと、参加した人達は分担された仕事をしっかりやり遂げていました。真っ白になった枠は、とてもきれいに見えました。

3月6日におよそ30名で、新しい網をビオトープに掛けました。今まで以上の美しい姿が浮き上がり、中でほたるが舞うのをじっと待っているように思えました。ほたるだけでなくビオトープも見に来ていただけると幸甚です。



「蛍狩りの頃」

教育指導班 班長 大出 清成

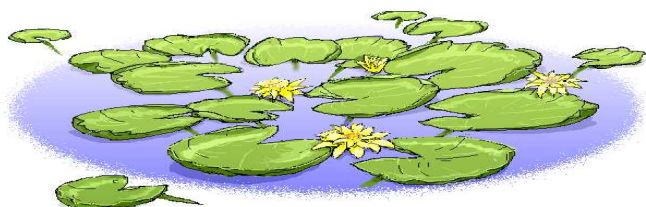
「ホ ホ ホータル コイ♪」子どもたちの元気な声が川面を走る。少年は辺りを飛び交う蛍をうちわで扇ぎ、一匹一匹と、まるで宝石でも扱うように、大切に籠の中に入れる。かすかな蛍の匂いが漂う。初夏の風は実に爽やかだった。

「ガーコン ガーコン」この時は麦こきの真最中、みるみる麦わらの山ができる。子どもたちはミゴを摘んで、思い思いに籠を編む。そして、出来あがった籠に蛍草を入れ、水に濡らして日が暮れるのを待つ。

辺りが暗くなると、連れだって巴波川の堤防へ急ぐ。いよいよ蛍狩りの始まりである。あちこちと走り回り、捕まえた蛍を籠の中に入れるにつれ、籠の中が明るくなる。籠の灯りをぶら下げて、みんなは意気揚々と家路につく。

「また明日な。」 「うん、また明日な。」と別れる。家では、寝室に蚊帳を吊って待っていてくれる。少年は、中に蛍を放って、それを眺めながら静かな眠りにつく。

—少年の日の思い出—



放流式

今年も、地域の人達によって飼育されたほとるの幼虫の放流式が市長様をはじめたくさんのご来賓をお迎えして行われました。当日はあいにくの天気だったため、源氏ボタル150匹が放流されましたが、後日源氏ほとる・平家ほとる（所沢文化幼稚園様からの寄贈）が追加放流されています。

自然のきびしさ

ホタルの放流式ではぼくたちが幼虫をカップに入れて準備しました。スポットで幼虫を吸い取るのが楽しかったです。ホタルの会の3人が教えてくださったので勉強になりました。放流式ではビオトープに代表の人がホタルの幼虫を放流しました。幼虫がヤゴに食べられました。ざんこくな光景を見てかわいそうだと思いました。

6年

願いをこめて

今年のホタルの活動は4回目です。今回はあいにく雪だったので代表の人が放流しました。各学年代表と先生たちと来賓の方々です。幼虫を2匹入れたプリンカップを用意したのは、私たち当時5年生です。児童全員「6月には光って飛んでね。」という願いをこめたからたくさん飛ぶと思います。

6年

ほとるを観る会

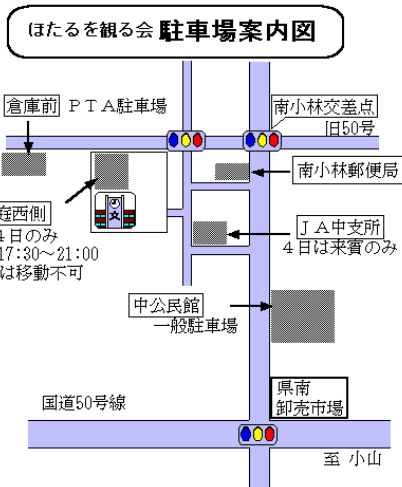
☆ 6月4日(金)

イベント 18:00 ~ 18:40
 式典 19:00 ~ 19:30
 観る会 19:40 ~ 21:00

☆ 6月5日(土)・6日(日)

観る会 19:30 ~ 21:00

ご家族でお誘い合わせて見に来てください。



※校庭駐車される方々へ

① 入口 (北側県道から)

午後5時30分には入口を閉じます。

<早めに来て下さい。>

出口 (西側から)

午後9時までは出られません。

② 車は、西向きにして駐車する。

【ほとるは、明るさを嫌います。】

ご協力ください。

『ほとる飛び交う中地区をめざす運動の会』本部役員

会長	森田 弘	前中小PTA会長
副会長	大熊 久子	中小学校長
	松本 旭巧	中公民館長・創生期の指導者
	松本 和巳	中小PTA会長
	小川 明	創生期の自治会長
理事	熊倉 忠雄	儀式、イベント班長
	新井 幸男	ほとる飼育班長
	田波 耕太郎	広報活動班長
	大出 清成	教育指導班長
	小暮 米作	施設班長
	古口 昌稔	施設副班長
	渡辺 光蔵	自治会連絡協議会代表
	飯田 弘光	//
	安良岡 博	//
	増田 博利	前自治会連絡協議会代表
	荒井 静男	//
	安良岡 佐一	//
	松井 正弘	前中小PTA会長
	白石 久夫	中小PTA本部役員副会長
	池羽 径世	//
	青木 環	//
	大桃 勝吉	//
	小川 智子	//
	福田 昭枝	//
	小林 まさ	//
	大塚 幸一	前中小学校教頭
	山道 玲子	前中小学校教務主任
顧問	森田 総一	小山市市議会議員
	大出 ハマ	//
	羽金 勝子	前中小学校長
会計	町田 繁	中小学校教頭
庶務	青木 誠	中小学校教務主任
ビオトープ係	安塚 豊子	中小学校教員
	渡辺 泰之	//
委員	自治会関係、各種団体関係 PTA(平成13年度以後)、ボランティア関係	

あいきつ通りに灯り 夜店も出るよ!

『ほとるを観る会』のイベント当日(6月4日)には、あいきつ通りにちょうちんの灯りを設置してお祭りの雰囲気盛り上げると共に、歩行の安全を図ることになりました。

また、美田商工会の方々のご協力により「やきそば」「ポテトフライ」の夜店が設けられます。

更に、前PTA役員さんたちによる「とん汁」のチャリティーサービスもあります。

お楽しみに!.....

編集後記

広報誌第3号発行にあたり多くのご協力をいただき心より感謝いたします。今年も多くのごほとるが飛び交うことを願っております。

広報班 田波 耕太郎 田中 佐一
 山道 玲子 池羽 径世
 青木 環
 青木 誠